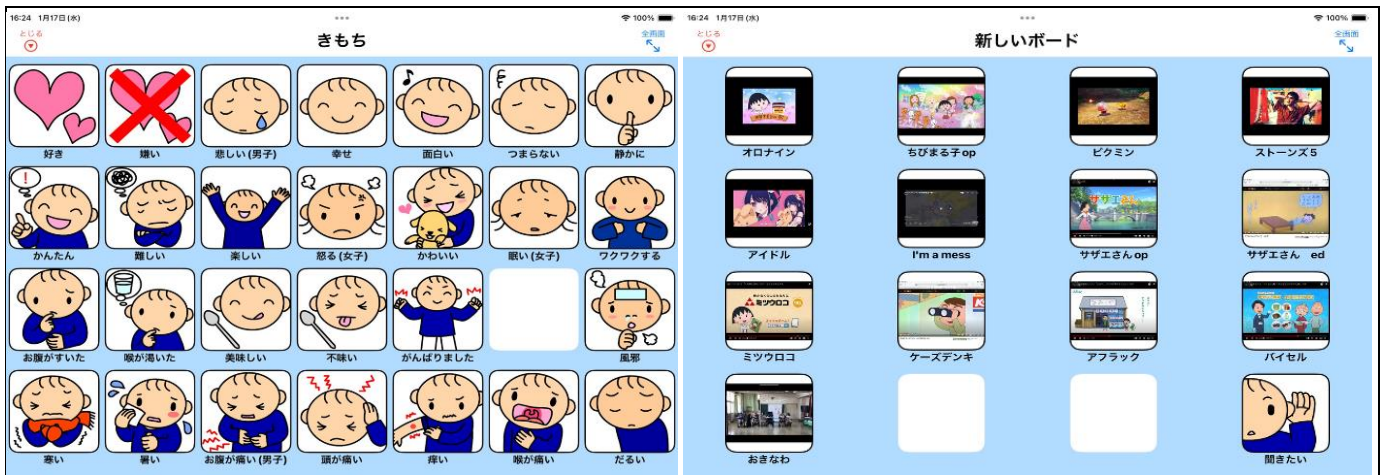




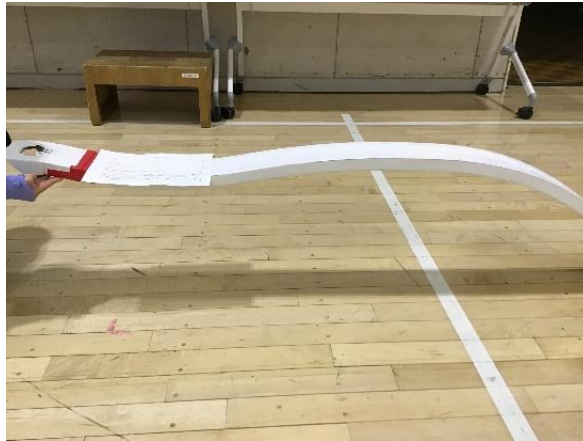
対象	肢体不自由教育部門 小学部
教材の名称	パネルシアター おはながわらった
使用目的	音楽鑑賞・お話あそび
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> 「おはながわらった」の歌を歌いながら、笑ったお花を1つずつ登場させることで、児童が注目する様子が見られた。慣れてきたところで、児童が自分でパネルに貼りにいたり、好きな花の色を選んだりする活動に発展させた。 マジックテープでお花を張り付けることができるので、児童の見やすい位置にパネルを提示することができる。



対象	肢体不自由教育部門 小学部
教材の名称	ドロップタップ
使用目的	朝の会等の進行表・コミュニケーションツール(PECSのような)・選択画面
教材の説明	<p>今まで、具体物やイラストを用いた選択場面を設けていたり、コミュニケーションブックを用いた表出を促したりしていたが、その場に応じて子どもたちの伝えたいことを選択肢にできると、やりとりの幅が広がることから、iPad アプリのドロップタップを用いたコミュニケーションを図った。</p> <p>また、朝の会や帰りの会の進行表も、以前は紙媒体で作成しており、教員が代弁する場面が多く、子どもたちの“自分でできた達成感”からはやや遠いものであった。ドロップタップを用いて、触れると読み上げ機能で再生される仕組みを通して、子どもたちの微細な手の動きを使って朝の会等を進行することができた。</p>



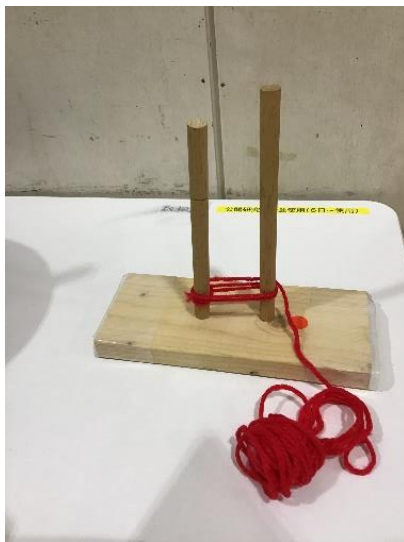
対象	肢体不自由教育部門 小学部
教材の名称	やさいさん
使用目的	国語の授業で行った「やさいさん」での模擬収穫の体験
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土に見立てたシュレッター紙に、この野菜たちを埋めて模擬収穫をする活動を行った。 ・ 葉の部分が大きく、埋まっても何かあることが児童にわかりやすかったようで、すぐに視線を野菜に向けることができた。 ・ プラスチックや本物も使ったが、フェルトで作った野菜もあり、様々な感触と視覚的な刺激を与えることができた。 ・ 児童が簡単に持てて握りやすいよう、フェルトと綿で作った。また、絵本に出てくる野菜となるべく形が同じになるように作成した(葉の部分と野菜の部分を分け、2人で作成しました!)



対象	肢体不自由教育部門 中学部
教材の名称	ランプころがしちゃん
使用目的	ポッチャ
教材の説明	<p>中学部ではポッチャで投球する際にランプを使用している。ボールが勝手に転がらないように、手前にボールを置ける場所を設置した。それによって自分のタイミングで投球することができるようになった。</p> <p>設置当初は段ボール一枚で取り付けたが、段差を乗り越えるのが難しい生徒がいたためもう一段厚みをつけて段差を無くしたところ、より投球しやすくなった。</p>



対象	肢体不自由教育部門 高等部
教材の名称	轆轤で毛糸巻
使用目的	作業学習(キーホルダー作り)
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 轆轤に棒を立て、毛糸を巻きつけられるようにした。 ・ 毛糸を井にビニールで蓋をして入れ、轆轤の動きに合わせて安定して毛糸が出るように工夫した。 ・ 轆轤を回すだけで毛糸が巻き付いていくので、回すことだけに集中することができ、作業を持続して取り組むことができた。



対象	肢体不自由教育部門 高等部
教材の名称	ハンドミキサーで毛糸巻
使用目的	作業学習(キーホルダー作り)
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチを押すことで、ハンドミキサーのヘッド部分が回転し、毛糸が巻き付いてく。 ・ 毛糸が安定して巻けるように、毛糸に合わせて台紙を作り、溝の部分に毛糸を通すようにした。 ・ 巻かれていく様子が目で確認できること、自らが操作して評価されることなど、達成感につながり意欲的な活動につながっていった。



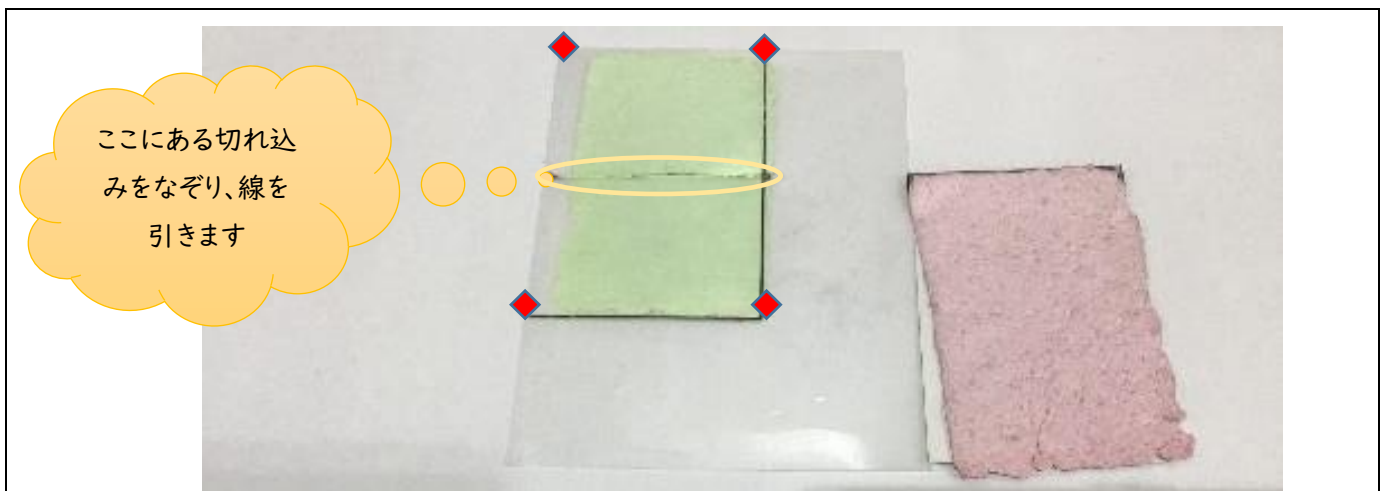
対象	肢体不自由教育部門 高等部
教材の名称	カウントの見える化
使用目的	作業学習(キーホルダー作り)
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレスのトレーに数字の表を入り、回数を数えマグネットを数字の上に置いていく。 ・ 5回数えたら、5の数字のところにマグネットを移動する。 ・ 60回まできたら報告する。 ・ 巻いた回数を忘れることなく確実に取り組めるようになった。



対象	知的障害教育部門 高等部(本校)
教材の名称	ポップアップカードのパーツ壁紙/ポップアップカードの仕掛けの手順書
使用目的	雪だるまのパーツをつくる/手順書を見ながら仕掛けを作る
教材の説明	<p>効果点について以下の2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポップアップカードでクリスマスカードを作りました。その際、飛び出すパーツの雪だるまを画用紙で作りました。見本を見て自分で描くことが難しい場合、型紙を使って雪だるまを描きました。 ・ 手順書を見ながら自分のペースで作ることができました。 <p>工夫点は、レベル別に手順書を用意し、作れそうなものを自分で選んで取り組めるようにしました。</p>



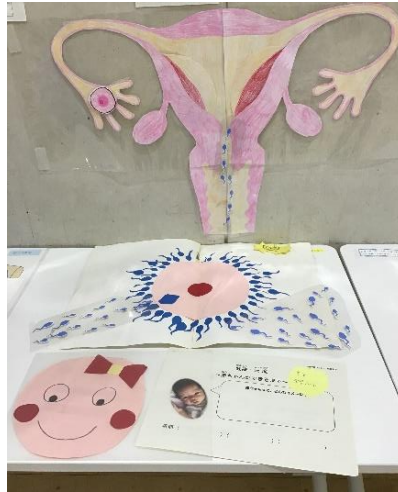
対象	知的障害教育部門 高等部(本校)
教材の名称	5mmの厚さを目指す粘土板
使用目的	粘土を5mmの均等な厚さにのばす
教材の説明	<p>効果点は、以下の2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等部の作業学習、陶芸班で、自分で粘土を5mmの厚さにのばせるように作成した。 ・ 粘土を伸ばすときに、板がずれてしまったり、のばし棒をどう使ったら分からず、教員の支援が必要だったが、これを使用することで、自分でできるようになった。 <p>工夫点は、粘土版に板を固定し、サイドラインとのばし棒にガイドの線を引いた。</p>



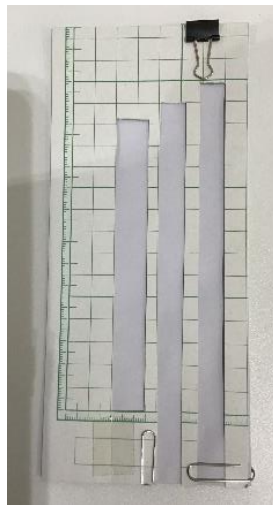
対象	知的障害教育部門 高等部(本校)
教材の名称	半分の線を引くための教具
使用目的	ハガキサイズの紙を半分の位置で線を引く
教材の説明	<p>効果点は、以下の2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙工班の作業で、メッセージアートを作るため、ハガキを半分に切る作業に取り組んでいる。 ・ 定規が使えない生徒や、長さを測るのが難しい子も自分で取り組めるように作成した。 <p>工夫点は、四角(㊦)に描かれた枠の中に、カードを入れ、真ん中で線を引きけるようにした。 (㊦：写真の◆と—は、説明用に入れたものです)</p>



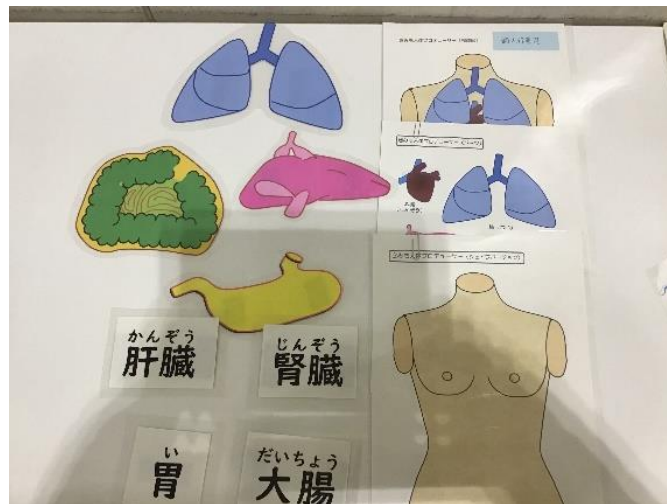
対象	知的障害教育部門 高等部(本校)
教材の名称	コミュニケーションブック『PECS』
使用目的	コミュニケーションブックを使った支援者とのコミュニケーション
教材の説明	<p>工夫した点は以下の4点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肢体不自由教育部門や他学年の教材を参考にし、本生徒が読めるようにひらがな表示の絵カード、学年職員の写真カードが収まったコミュニケーションブックを作成した。 ・ PECS トレーニング開始後は本生徒の様子を動画で撮影し、月に1回の研究日に学年職員で共有してより良い支援方法について意見をもらう機会を作った。 ・ 学年職員や管理職の助言をもとに支援の改善やコミュニケーションブックの改良を行いながら、本生徒の定着度合に応じてフェーズのステップアップを進めた。 ・ 本生徒がよりスムーズにカードを選択できるよう、要求する人の顔写真は黄色の枠、要求内容は赤色の枠、「ください。」や「お願いします。」などの文末言葉は緑の枠で括り、時間帯によって要求が多い内容を1ページに設定することで、スムーズに要求ができるようにした。 <p>効果が認められた点は、自らコミュニケーションブックに手を伸ばして自分の気持ちを表出できるようになった。好きな活動を要求するトレーニングから行ったことで定着が早かったと感じる。これまでは単語を言うだけで自分のやりたいことや欲しいものを表出してきたが、PECSを使うことで「〇〇先生、CD お願いします。」と、丁寧に誰にでも伝わる表現ができるようになった。トイレのときには数ある写真カードの中からよく一緒にトイレに行く男性教員を探すなど、相手を意識してコミュニケーションを取っている様子が見られた。また、本生徒が PECS に慣れてきた頃、CD を要求して CD デッキを手渡された瞬間に「やったー」と言って喜ぶ姿を見ることができた。</p>



対象	知的障害教育部門 高等部(有馬分教室)
教材の名称	妊娠・出産 ～赤ちゃんができるまで～ 学習キット
使用目的	生理や妊娠・出産の仕組みを説明するために使用
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生理について、自分の体内で起きていることがわかり、体感していた腹痛などの生理痛について生徒が納得する発言があった。 ・ 動かしたり貼り付けたりして操作することで、経過がわかるように工夫した。 ・ プリントは1タイトル1枚とし、シンプルにポイントが伝わるようにしたり、作業を入れたり、人との違いを語り合ったり多様な活動が展開できるようにした。



対象	知的障害教育部門 高等部(有馬分教室)
教材の名称	宛名書き用シート
使用目的	お礼状(封筒)の宛名を書くときに使用
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宛名書きをする時に、住所や名前位置、大きさをバランスよく記入するための補助教材で、方眼用紙などで手軽に作成することができる。 ・ 日ごろ文字が小さい生徒も適正な大きさに記入することができた。 ・ 視覚の補助があり、書きながら確認できるのでどこに書くかが分かりやすく、自信をもって書くことができた。 ・ 生徒が自分で教材を要求し、自分のペースで素早く封筒の宛名書きを完成させることができた。 ・ 文字を真っすぐかけない生徒も枠に合わせて下書きをし、きれいに書くことができた。



対象	知的障害教育部門 高等部(有馬分教室)
教材の名称	体の仕組みについて学ぼう(人体パズル)
使用目的	各器官の名称と位置について学習
教材の説明	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体の各器官の名称や働きについて興味を持って学習を進められるように、単元のはじめにパズルを切り取って貼り付ける学習を組み込んで授業を展開した。 体の内側にある見えない器官だが、形と名称を組み合わせて認識することができた。 はさみで切り取った器官を配置し、友達と自分の配置を比べたり話し合ったりしながら考える様子が見られた。 体調不良や具合が悪い際に、症状のある箇所を具体的な名称で伝えられるようになった生徒が見られた。

職業（授業）^{ふかえ} 振り返りシート

名前 _____ 日付 _____ / _____ / _____

<small>がくしゅうないよう</small> 学習内容	<small>かつどう</small> 活動	○をつけよう			
思い出して書く	プリントに書く	・よくわかった	・わかった	・すこしむずかしい	・むずかしい
絵を見て話し合う	意見を聞く、伝える	・よくわかった	・わかった	・すこしむずかしい	・むずかしい
項目ごとに発表	発表を聞く、話す	・よくわかった	・わかった	・すこしむずかしい	・むずかしい

がんばったこと、わからなかったこと、なんでも一言

もくひょう たっせい
目標の達成

家の中の危険を回避する方法を考える

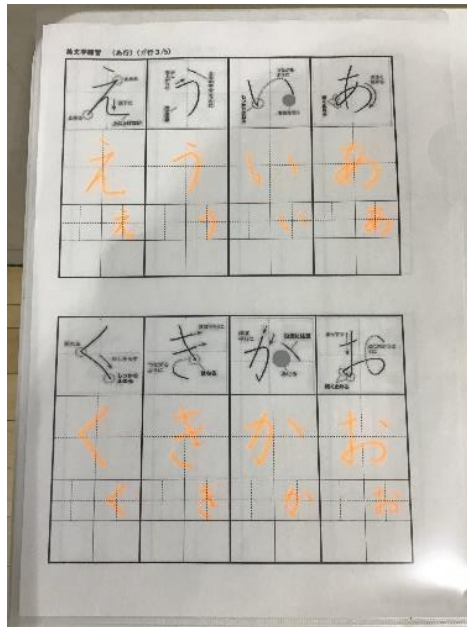
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

対象	知的障害教育部門 高等部（向陽館分教室）
教材の名称	授業 振り返りシート
使用目的	授業後の生徒の学習で感じたことを拾う
教材の説明	<p>工夫した点は以下の3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の学習内容と活動を示すことで、生徒が振り返りシートに記入して振り返ることができるようにした。 ・ 自由記入欄を設け、授業の中で思ったことを記入できるようにした。 ・ 授業で学習したことを10段階で自己評価できるようにした。 <p>効果が認められた点は以下の3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容をあらかじめ示し、ポイントが抑えられることで取り組みに活発さが感じられた。 ・ 自由記入欄では、授業の中で難しかったことや気づいたことなどを具体的に書いてくることが増えた。 ・ 生徒の自己評価を確認にすることで、授業中の様子と照らし合わせ、支援や手立ての効果の基準とすることができた。

＜時候の挨拶と結びの言葉一覧＞

月	挨拶	結び	
12	上旬	・山々の美しい雪化粧に冬の訪れを感じるようになりました。 ・心地よい冬晴れの続くこのごろ、 ・寒気日増しに深まるこのごろ、 ・クリスマスのイルミネーションが華やかに街を彩る季節となりました。 ・各地より初霜の知らせが届くこととなりましたが、 ・街路樹も葉を落とし冬の訪れを感じるこのごろ、 ・気持ちの良い冬日が続く今日このごろ、 ・白い息に冬の訪れが感じられるこのごろ、 ・新雪が山々の頂を美しく覆うこのごろ、	・寒気厳しき折ですので、
	中旬	・方々から雪の便りも届き、冷気に身の引き締まる季節となりました。 ・舞臺の空に小雪の舞う日も増えてまいりましたが、 ・木枯らし吹きすさぶ季節となりましたが、 ・凍てつく北風の吹く季節を迎えましたが、 ・年末とは思えないほど穏やかな陽気が続くこのごろ、	・寒くて空気の乾燥した日が続いておりますので、
	下旬		

対象	知的障害教育部門 高等部（向陽館分教室）
教材の名称	「実習お礼状プリント」「時候の挨拶、結びの言葉一覧表」
使用目的	お礼状作成の際に、生徒の感じたことや考えを整理し、言葉にする
教材の説明	<p>工夫した点は4点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙を書く際の体裁に合わせた仕様。 ・ 項目ごとに整理して書けるように、行分けをしている。 ・ 項目ごとに書く内容を具体的に整理できるよう、例文や手立てを提示している。 ・ 挨拶文、結びを月、時期ごとに分類し、自分で引いて記入することができる。 <p>効果が認められた点は3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙の体裁、起承転結に沿った流れで書く事ができていた。 ・ 内容について、書く内容について手立てを見て気持ちや考えを深めながら記入することができた。 ・ 手順が明確なため、作成にあたって時間が早くなってきた。



対象	知的障害教育部門 高等部(向陽館分教室)
教材の名称	ひらがな 美文字プリント
使用目的	国語・課題での学習活動
教材の説明	<p>工夫した点は以下の3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの取りにくいひらがなを中心に、書き方のポイントの見本をつけた。 ・ 枠の中に目当てとなる軸線を入れた。 ・ なぞる手順の練習、枠のサイズの変化など。 <p>効果が認められた点は以下の3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぞりを行うことで、ポイントになる空間などがつぶれなくなってきた。 ・ 定期的に行うことで、字を丁寧に書く意識がついてきた。 ・ 日誌の記入等で、枠を意識して納めて書く意識がついてきた。